

事務連絡  
令和3年9月29日

都道府県トラック協会  
専務理事 殿

公益社団法人 全日本トラック協会  
常務理事 山崎 薫

(一社)日本自動車会議所  
「クルマ・社会・パートナーシップ対象」創設のお知らせ  
並びに応募促進のお願いについて

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の業務運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび(一社)日本自動車会議所では、日刊自動車新聞社との共催で、表彰制度「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」を創設し、表彰概要が発表されました。

つきましては、自動車業界で働く人々や自動車ユーザーの方々からの公募を開始したことから、業務ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本趣旨をご理解の上、貴協会傘下会員事業者に対する周知にご協力頂きますよう、よろしく願いいたします。

敬具

記

1. 添付資料

(一社)日本自動車会議所『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』創設のお知らせならびに貴業界からの応募促進のお願いについて

<https://www.aba-j.or.jp/partner/> (※送信枚数：本紙含め計7枚)

※本件お問い合わせ先：(一社)日本自動車会議所

(TEL:03-3578-3880)

以上

日自会発第 21022 号  
2021 年 9 月 21 日

理事・監事各位  
会員代表者各位  
運営審議委員各位

一般社団法人 日本自動車会議所  
会長 内山田 竹志

## 『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』創設のお知らせ

### ならびに貴業界からの応募促進のお願いについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より当会議所の事業活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当会議所は、5月の総会にてご提案し、決議をいただきました新たな表彰制度「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」を創設し、一般や自動車業界に従事される方々などからの公募を開始いたしました。

本賞は、自動車業界において、日々の職場・現場をベースにしながら、わが国の社会や自動車産業・文化の発展に努力・貢献している方々の取り組みに光を当て、それぞれの取り組みが世の中にさらに広がっていくことの一助にとの思いを込めて、創設に至ったものです。

皆さまの業界におかれても、地道にこうした取り組み・活動に励まれている方々も多数おられることと存じますので、この表彰制度への積極的な応募促進にご協力を賜りたく、ご依頼申し上げます。

なお、添付プレスリリースにもございますが、応募の要領は以下の通りとなっております。制度の周知をはじめ、事業者様へ応募に向けたお声がけなどのご協力を賜れば幸いです。

何卒ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

#### [応募申請要領]

- (1) 日本自動車会議所や会員のホームページ (HP) にある本賞のバナーにアクセスし、応募申請フォームに記入し送信
- (2) もしくは、別添応募申請フォーム (HP からダウンロードも可) に記入し、電子メールで申請

〈日本自動車会議所HPアドレス <https://www.aba-j.or.jp/>〉

〈電子メールアドレス [Award2021@aba-j.or.jp](mailto:Award2021@aba-j.or.jp)〉

受付期間 9月15日(水)～11月5日(金)

以上

添付資料：(1)2021年9月15日付 日本自動車会議所プレスリリース

(当会議所HPからもダウンロード可)

(2) 受賞候補になる可能性のある事例のイメージ

本件担当：日本自動車会議所 島山・勝田・田村 TEL：03-3578-3880 (事務所)

E-mail：[Award2021@aba-j.or.jp](mailto:Award2021@aba-j.or.jp)

# NEWS RELEASE



一般社団法人 日本自動車会議所  
Automobile Business Association of Japan

2021年9月15日

自動車業界 550 万の働く人々と自動車ユーザーへ感謝を伝える

## 『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』創設

表彰概要を発表し、一般・会員公募を開始  
2022年初春に表彰式を開催予定

日本自動車会議所は、日刊自動車新聞社との共催で、新たに表彰制度「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」を創設し、このたび第1回となる2021年度表彰概要を発表いたしました。一般および当会議所会員からの公募を本日から開始し、2022年初春をめどに表彰式も行う予定です。

「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」は、本年、日本自動車会議所が1946年（昭和21年）の創立から75周年の節目を迎えた機をとらえ、現在550万人にもものぼる自動車業界で働く人々や、自動車ユーザーも含めて、自動車にかかわる全ての方々にあらためて「ありがとう」と感謝を伝える場を作りたいとの気持ちから創設に至りました。

現在、自動車業界は、100年に一度ともいわれる大変革期や、新型コロナウイルス感染拡大等の大変難しい状況にあり、自動車ユーザーにも大きな影響を与えています。

本賞は、そのような状況下にあっても、日々の職場・現場をベースにしながら、わが国の社会や自動車産業・文化の発展に努力・貢献している方々の取り組みに光を当て、自動車に関わる全ての方々の代表として表彰することにより幅広く認知を広げ、それぞれの取り組みが世の中にさらに広がっていくことの一助とするものです。

受賞候補となる一般・会員からの公募ならびに主催者事務局の推薦による取り組みは、後日設置される2021年度選考委員会（委員長：鎌田実 東京大学名誉教授）による審査を経て、2022年初春をめどに受賞者を公表し、都内会場にて表彰式を行う予定です。

制度概要・公募の要領については、別紙のとおり。

(本発表資料のお問い合わせ先)  
一般社団法人 日本自動車会議所  
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 15 階  
TEL. 03-3578-3880 FAX. 03-3578-3883  
E-mail. Award2021@aba-j.or.jp  
担当：勝田、田村



別紙

## 2021年度「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」概要

### ～日本自動車会議所感謝表彰～

**主催** 一般社団法人 日本自動車会議所 (全 165 会員)  
株式会社 日刊自動車新聞社

**後援・協賛** (今後決定)

**目的** (1)自動車業界で働く人々や、自動車ユーザーを含めた自動車にかかわる全ての方々が、わが国の社会や自動車業界に果たしている貢献に対して、「ありがとう」と感謝の意を伝える  
(2)表彰を通じて、それぞれの貢献の取り組みにあらためて注目を集め、認知を広げることで、同じような取り組みが拡大していく一助とする。

**受賞対象** 日々の業務・活動をベースにしなが、以下 (1)～(4)のいずれかに実際に取り組む自動車業界で働く人々・自動車ユーザー (地域は全国)

- (1)モビリティに関する課題や、モビリティの手段を通じた社会課題の解決に取り組んでいる。(例：交通安全、公共交通、MaaS 等)
- (2)SDGs 目標達成につながる取り組みを行っている
- (3)地域や自治体と協働・連携し、地域活性化に取り組んでいる (含：災害・緊急時)
- (4)ユーザーとして自動車を大切に取り扱い、性別や年齢に関わらず幅広い層から評価される取り組みを行っている

**受賞構成** 大賞を含めて以下の三賞を設ける・カッコ内の数字は受賞数

- I 大賞 (1) [総合的に最も評価の高い選考結果を得たもの]
- II 部門賞 (4) [受賞対象の 4 分野ごとに最も評価の高い選考結果を得たもの]
- III 特別賞 [制度の趣旨に照らし、選考委員が推奨し、特別に表彰に値するもの]

**選考・表彰** (1)21年9月～ ①一般および会員からの公募 ②主催者事務局推薦 の開始  
(2) 11月～ 選考委員会を設置し、厳正・公正な審査により受賞者を選定  
(3)22年初春 受賞者公表  
表彰式開催 都内会場で当会議所会長より表彰状授与 (副賞 (賞品を予定))

**選考委員会** 委員長：鎌田実 東京大学名誉教授  
※法人の社会活動や自動車業界に詳しい有識者等で委員構成 (今後決定)

**公券要領** (1)日本自動車会議所や会員のホームページ (HP) にある本賞のパナーにアクセスし、応募申請フォームに記入し送信  
(2)もしくは、別添応募申請フォーム (HP からダウンロードも可) に記入し、電子メールで申請  
<日本自動車会議所HPアドレス <https://www.aba-j.or.jp/>>  
<電子メールアドレス Award2021@aba-j.or.jp>

受付期間  
9月15日(水)  
5  
11月5日(金)

(別添)

## 「2021年度 クルマ・社会・パートナーシップ大賞」 応募申請フォーム

## 1. 基本情報

代表団体・企業名	
所在地	
担当者 職名・氏名	
電話番号	
メールアドレス	
共同応募団体・企業名	

(第三者の推薦の場合)

推薦団体・企業名	
担当者 職名・氏名	
電話番号	
メールアドレス	

## 2. 取り組み名 (企画名)

--

## 3. 取り組みの内容

○該当する4分野(複数可)にチェックを入れ、具体的な取り組み内容を記述してください(字数制限はありません)

- (1)モビリティに関する課題や、モビリティの手段を通じた社会課題の解決に取り組んでいる。(例:交通安全、公共交通、MaaS等)
- (2)SDGs 目標達成につながる取り組みを行っている
- (3)地域や自治体と協働・連携し、地域活性化に取り組んでいる(含:災害・緊急時)
- (4)ユーザーとして自動車を大切に扱い、性別や年齢に関わらず幅広い層から評価される取り組みを行っている

取り組み期間: 年 月 ~ 継続中   もしくは 年 月まで
--------------------------------

(取り組みを始めた経緯)
--------------

(取り組みによって生まれた周囲の変化・効果)にもお触れ下さい
--------------------------------

○取り組み内容の説明の参考になる映像・動画(含:報道)があれば添付やURLの記入をお願いいたします

--

## 4. その他

○取り組み内容に関して、本賞以外の表彰制度への応募や受賞歴がありましたらご記入ください(※本賞の選考には影響いたしません)

表彰制度名	
応募・受賞年	
応募・受賞した賞の名称	

以上

## (ご参考) 受賞候補になる可能性のある事例のイメージ

実在のケースも参考にしたい、あくまでイメージとしての一例です。また、実際の選考において必ずしも評価が高くなるイメージを挙げたものではありません。

取り組み概要	
代表分野	
1	交通安全 地域の自動車関連企業とボランティアグループがタッグを組み、子供や保護者を対象に、音楽や演劇などのパフォーマンスを通じて交通安全啓発活動を行い、子どもたちの交通事故の防止に役立っている。
2	地域活性化 いわゆる過疎地域において、自動車整備拠点も集約化が進む中、地元の自動車関連企業が連携し、地域の自動車ユーザーや雇用を守るためのビジネスモデル構築に挑戦している。
3	地域活性化・SDGs 地域の自動車関連企業が、地域の学童保育や養護学校の課外活動などにかかる費用を負担。自動車関連企業の見学会なども行い、将来に向けた職業意識や目標をもってもらう活動をしている。
4	地域活性化・災害支援 地域の主要自動車関連団体が企業を立ち上げ、大規模災害による廃棄物の保管場を提供するほか、地域の復興や、風評被害払拭に向けた活動に取り組んでいる。
5	地域活性化 地域の自動車販売会社の若手経営者が中心となり、次世代を担う子どもにも、クルマの楽しさなどを知ってもらうことや、クルマを通じて何を残してあげられるのかをコンテンツにした地域発のモニターショーを実施している。
6	SDGs 地域の自動車関連企業が、高校生の見学会を受け入れ、同社のSDGs取り組み説明会などを開催。社内にプロジェクトチームを設け、PRするため独自キャラクターを創ったり、SNSやチャラシなどに活用するなどで取り組んでいる。

取り組み概要	
代表分野	
7	<p>地域のタクシー会社の系列企業が、Maasに関するアプリの開発を手掛け、地域振興や経済活性化に向けて自治体とともに実証実験を行っている。システム開発のみならず交通事業者向けの業務改善コンサルティングも提供するほか、交通弱者も少なくない地方でタクシー事業を営んできた強みとノウハウを活用し、Maas社会の実現に寄与している。</p>
8	<p>自動車の分解整備や板金塗装などを手掛ける会社が、その高い技術力と運営管理体制、顧客対応力などを活かして、低予算で総合的なレストアを提供しながら、地元でクラシックカー、過去の人気車種や写真展の展示、顧客の交流会などを行い、地域の自動車文化の向上に努力を続けている。</p>
9	<p>地域のレンタカー会社が地元自治体と連携し、災害時にキャンピングカーを避難所として活用するほか、新型コロナウイルスに対応する医療従事者の休憩場所などとしての利用を行っている。平常時でも宿泊施設としての利用をはじめ、リモートワーク、イベント時の救護室、授乳スペースなどとして、自治体や医師会経由で病院への貸し出しにも取り組んでいる。</p>
10	<p>産学官が連携し、地域高齢者の健康と交通安全を支援するため、販売会社を会場に、自治体が地域の高齢者に体力アップや認知機能維持の指導を行い、自動車関連企業が安全運転を指導する。</p>
11	<p>高齢者の免許返納増加や、バス・タクシードライバーの不足など、高齢者の移動手段確保という課題解決に向けて、地元の自動車関連企業が、自治体、IT企業と連携し、銀行や学校などをつなぐ自動運転EVを運行。市民や地元商工会の方の自主的な協力を引き出すことに成功し、安全な自動運転EVの運行を実現している。</p>